



京都大学

第18回 市民防災講座 - 災害リスクを考える - 自然災害に備える

参加無料

【日時】2018年12月8日(土) 13:30~16:50

【場所】TKP京都駅前カンファレンスセンター ホール3A

司会 京都大学大学院 工学研究科 准教授 伊豫部 勉

主催者挨拶

京都大学大学院 工学研究科

教授 杉山 友康

講演

● 近年の土砂災害の特徴と土砂災害を予測する最新技術
京都大学 防災研究所 准教授 竹林 洋史

● 大気安定度を考慮した地形性強風の発生メカニズムの
数値的解明とその対策
九州大学 応用力学研究所 准教授 内田 孝紀

● 自然行動中の脳内メカニズムの理解を防災に活かす
北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授 田中 宏和



舞鶴市・宮津市 由良川河口付近(H25.9)



京滋バイパス笠取 I C 周辺(H24.9)

撮影：アジア航測株式会社

事例紹介

● 京都府における自然災害の状況と取組み
京都府 府民生活部災害対策課 副課長 齋藤 裕二

● 自然災害に備える～JR西日本 京都支社の取組み～
西日本旅客鉄道株式会社
執行役員 近畿統括本部副本部長 京都支社長 三輪 正稔

※講演者及び講演内容が変更となる場合があります。

【定員】150名 (先着順・要事前申込)

【申込方法】参加希望の方は、下記URL, FacebookもしくはQRコードよりホームページから登録
いただくか、必要事項を記載のうえメールまたはFAX(裏面参照)でお申込ください。

必要事項 ①代表者氏名 ②電話番号 ③住所

④職業(会社員(会社名)/公務員/学生/その他)

⑤記事欄(2名以上同時申込の際は代表者以外の氏名, その他要望事項)

※参加申込でいただいた個人情報は、当市民防災講座の運営及び当講座からのお知らせ以外の目的には使用しません。

ホームページURL <<http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/lab/>>

Facebook: 京都大学 災害リスクマネジメント工学-JR西日本-講座

メール: info@ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp FAX:075-383-3410

【申込締切】12月5日(水)

【問合せ先】京都大学災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座
TEL:075-383-3114(平日10時~17時)



主催：京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座
後援：国土交通省近畿地方整備局/京都府/京都市/公益社団法人地盤工学会関西支部/
公益社団法人土木学会関西支部/関西鉄道協会/京都新聞
協賛：西日本旅客鉄道株式会社



京都大学第 18 回市民防災講座

— 災害リスクを考える — 12 月 8 日(土)

京都大学災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座では、JR西日本からの寄附により、自然災害に対する鉄道や道路などの社会基盤設備の総合的管理技術、交通規制といったソフト対策技術の研究を進めています。あわせて市民の皆様の防災に対する意識の向上と、避難時の行動や住民同士の協力の重要性を理解していただくことを目的に市民防災講座を企画しました。

講演

●近年の土砂災害の特徴と土砂災害を予測する最新技術

京都大学 防災研究所 准教授 竹林 洋史

2017年の九州北部水害や2018年の西日本豪雨災害など、近年、短時間の高強度降雨による表層崩壊によって非常に多くの土石流・泥流が発生しています。本講演では、近年の土砂災害の特徴とそれを予測する最新技術について紹介します。

●大気安定度を考慮した地形性強風の発生メカニズムの数値的解明とその対策

九州大学 応用力学研究所 准教授 内田 孝紀

大気安定度を考慮した地形性強風の発生メカニズムの数値的解明とその対策について紹介します。研究対象は湖西線周辺としました。大気安定度を考慮することで中立時には見られない局地的な強風場が発生する可能性が示唆されました。

●自然行動中の脳内メカニズムの理解を

防災に活かす

北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授 田中 宏和

異常時にどのように人が行動するかを理解するためには、自然な環境下での脳の働きを知る必要があります。近年のハードウェアや信号処理における進歩により、自然な行動中の脳波計測が可能となりました。本講演では、運動課題や探索迷路課題中の脳波計測実験を紹介し、運動制御や空間認知の脳内メカニズムに迫ります。

事例紹介

●京都府における自然災害の状況と取組み

京都府 府民生活部災害対策課 副課長 齋藤 裕二

本年は地震や豪雨、大型台風等の自然災害が多発しており、多くの方が被害に見舞われました。本講演では、これら自然災害による京都府内での被害状況についてご報告するとともに、課題や京都府の取組みなどについてご紹介します。

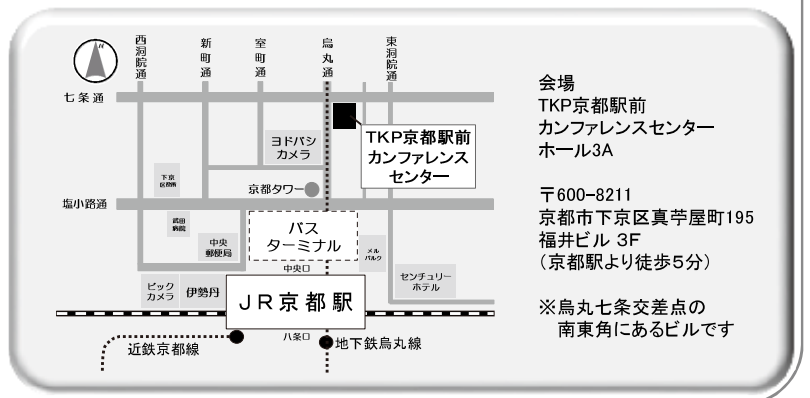
●自然災害に備える～JR西日本 京都支社の取組み～

西日本旅客鉄道株式会社 執行役員

近畿統括本部副本部長 京都支社長 三輪 正稔

本年は、大阪北部地震、西日本豪雨、更には大型台風の襲来など多くの自然災害に見舞われました。今回は、これらの災害を教訓としたハード、ソフト両面からの取組みをご紹介します。特にソフト面においては、通勤、通学や観光で多くのお客様にご利用いただいている京都エリアの特情を踏まえた対応についてもご紹介します。

自然災害に備える



FAX 申し込み用	①代表者 氏名	(フリガナ) (氏名)	②電話番号 (F A X 番号)		
	③住所	〒	—	都道府県 市区町村	
	④職業	該当する職業を○で囲んでください。 1.会社員 (会社名:) 2.公務員 3.学生 4.その他 ()			
	⑤記事欄	2名以上同時にお申し込みの場合は、こちらに氏名、フリガナ、職業をご記入ください。			

※一週間以内に申込受付のご連絡がない場合は事務局までお問合せください。

FAX : 075-383-3410